

主 直 日 誌

2月15日（日）天候 bc

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

活餌管理、熱交換器プレート洗い、エンジンの仕組み

【感想（一日を振り返り、学んだこと、感じたこと）】

今日は、活餌管理を行った後に、3S3Pの海水を冷やしていた熱交換器のプレートを掃除しました。活餌管理では、船底に溜まったナズミ（死んだ鰯）を金網のカゴに入れ、重さを測りました。ナズミを量る際は、船は揺れているため、家庭で使っているような体重計ではなく、最大15kgまで測れる専用の棒とおもり（棒ばかり）を使用しました。ナズミが入った金網のカゴと重りが釣り合った時の目盛りから、金網のカゴの重さ1.8kgを引くとナズミの重さがでます。その後、3S3Pを冷やしていた熱交換器を掃除しました。熱交換器の構造は、長方形の金属プレートに上と下に二つずつ穴が空いていて冷やされる方の液体が上、冷やす方の液体が下から入るようになっていて、表にはパッキンがあり、裏にはパッキンが無く、高い圧力で押し付けていることで液体が漏れないようになっています。そのプレートを一枚一枚丁寧に洗い、元に戻しました。

午後の課業では、エンジンについて学びました。エンジンとはエネルギーを取り出すもので、色々な動力元になっています。その構造の内、シリンダヘッドの吸・排気弁を動かす機構を例に挙げると、クランクシャフト→ギアケース→カムシャフト→プッシュロッド→ロッカーアーム→吸・排気弁の順です。もっとエンジンについて、詳しく理解できるように頑張りたいです。

2026年2月15日

活餌管理、熱交換器プレート洗い、エンジンの仕組み

